

編集と発行 鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254番)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 140番)
町の人口 昭和42年8月1日 現在推計人口
男 5,865人 計 12,497人
女 6,632人 前月より 2人増

たばこは町内の
店で
買いましょう。

大報 おおおじめ

もっと農業の勉強がしたい 多かった建設的な意見 池田校区で町政座談会

町では、八月二十二日から約一週間にわたって、池田校区の各部落を対象に、町政座談会を開きました。
ご承知のように、池田校区と宿利原校区は、役場までの距離が遠いため、同地方のかたがたの直接町政に対する声を聴く機会が少なく、いろいろな面で不便な点が多いわけです。町では、この地方の人

たちの声をお聴きし、できるだけ町政面に取りあげて行こうということから前に宿利原校区を対象にして実施していきましました。
役場から、町長をはじめ、各課長が出席し、これまでの座談会とは方法をかえて、できるだけ住民のかたがたの意見を聴くことに重点をおいて行ないました。

暑いさ中で、多数の出席が得られるかどうか案じられていましたが、各部落とも非常に出席がよく、町政に対する関心の深さが伺われました。各部落を通じて、出されたおもしろい意見、要望等は、大体的なものをご紹介します。
①、農業後継者の育成問題について、具体的にはどのような方策を講じていくか(笹原)
②、壮年層に対して、青年建設班に類するような勉強の機会を作って欲しい(段中野)

③、農業技術指導の面で、各戸に対する指導を強化できないか(毛下、松坂、半ヶ石、寺崎)
④、家畜市場の場所決定の問題は、どのようになっているか(各部落)
⑤、町道、農道等の補修や改良をやって欲しい。(各部落)
以上のようなことでしたがこれに対して、町としては、①については、国や県で実施している、農業後継者育成資金の活用と、これで不足するならば、町単の育成資金制度も設けること。現在実施している農村青年建設班の制度を引き続き実施したい。
②については、非常に重要なことであり、県や一、二の町村で実施している「短期農業大学」なり「夏期農業大学」等の制度を、経済課や公民館で充分検討させ、実施したいこと。
③については、農業技術の指導は、非常に重要なことですが、各戸指導ではなかなか能力があがらないので、特別な場合を除いて、集団指導を実施していく考えです。従って農家でも、グループを結成するなどしていただきたいこと
④については、場所的に考えて、最も適当な所だと考えられるので、内定している花ノ木地区に決定するものと信じている。
⑤については、昨年の災害復旧工事に追はれていたので、最近、町道が荒れており、非常に申しわけなく考えておりできるだけ砂利撒布等やっていく方針なので部落の方も協力していただきたい。
農道の問題については、できるだけ国や県にお願いして改良工事等実施していく考えである。部落でも、土地改良区に類するような組織を作っていたらいい、これに対する態勢を整えていただきたい。大休以上のような施策、考え方をもっています。
なお、今回の座談会の開催に当たりまして、役場の行事等の都合で、たびたび日程や、開催の時間等を変更し、各位にいろいろな迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。
他の校区につきましましては、農作業とにらみ合わせながら実施していく考えです。

水道工事の請負契約を承認

第四回臨時町議会開かる

第四回の臨時町議会が、去る九月五日午前十時から開かれ、六つの議案を原案どおり可決、同日閉会しました。
おもな内容は次のとおりです。

一、水道事業第一工区の工事請負契約締結について
昭和四十二年度工事として行なわれる水道事業工事は水源関係の工事と大根占校区の配管布設工事が行なわれます。
この工事を、二つの工区に分け、うち第一工区の工事(水源配管工事と上ノ宇都部落

から、六反田部落附近までの配水管布設工事)請負契約を入札の結果鹿児島市の、南國殖産株式会社との間に結ぶものです。
工事金額は、千八百二十三万九千四百円です。

二、水道事業第二工区工事請負契約の締結について
第二工区の工事(前記部落を除く大根占校区の配水管布設工事)を入札の結果福岡市の久保田鉄工株式会社九州支店との間に結ぶもの
工事金額は、二千五十六万六千円です。

工事の完成は、第一、二工区とも、来年の二月末までとなっていますので、この工事が終わりますと、大根占校区内の対象部落は、給水がなされることとなります。

三、池田小学校危険校舎改築等の工事請負契約の締結について
池田小学校の危険校舎改築工事を、入札の結果、町内の桑原組との間に請負契約を結ぶものです。今年は、新しく五二・三・八三二平方メートル(約一五八坪)の校舎(普通教室三音楽室、理科室、同準備室、便所)が作られます。
工事費は、千四百二十万円です。

四、宿利原小学校危険校舎改築工事の請負契約について
池田小学校と同様、鹿児島市の田中建設との間に請負契約を結ぶもの。

六反田部落で設置する部落有線放送施設と、同部落の和牛肥育グループで設置する飼料及び牛の係留施設に使用する材、それに、笑喜上部落で設置する警備台及び防犯燈施設に使用する材を、町有林のすぎ間ばっ材を無償で払い下げるものです。

青少年の健全育成は 部落ぐるみで

青少年指導者講習会から

社会の急激な変化は、青少年教育のありかたについていろいろな問題を提起しています。

なかでも、校外生活における指導の問題は、すべてのおとな、あらゆる機関、団体がこぞってその解決に当らなければなりません。

町、町公民館、町PTA連



(青少年指導者講習会、公民館で)

かしこい消費者に
なるために

お母さん達のお勉強

昭和四十二年度婦人会幹部
研修会は八月二十二日午前九
時半から中央公民館で開かれ
ました。

町や校区、それに各部落の
婦人会の幹部、一一八人が出
席。垂水市社会教育課長、大
根占小学校永留教諭を指導者
に、次の事項を研究の主題に
終日熱心に研修しました。

イ、消費者としての学習は、
まず何と取り組めばよいか

緒協議会では、家庭や地域社
会(部落、校区)が、本町青
少年にとって、人間形成の場
であり、自主性、社会性を育
てる場であることから、部落
親子会の指導者、PTAの各
役員、各小、中学校生活指導
主任、児童委員、青少年協議
会役員、婦人会役員など、お
もな指導者を集めて、研修会
を開きました。

会は、八月十一日、中央公
民館会議室で開かれ、

1、どのようにして親子会を
つくるか。

2、親子会(子ども会)活動
のありかた、指導者のあり
かた。

3、地域における青少年生活
の実態とその対策。

などを研究主題に、垂水市社
会教育課長の「子ども会活動
と指導者のあり方」、大徳大
根占警察署長の「青少年の健
全育成と地域社会の役割」
と題する有意義な指導講話が

ありました。

このほか、当日は、神川上
川南両親子会の指導者から、
会の運営についての事例の発
表があり今後、次のようなこ
とを推進してゆくことを申し
合わせました。

1、親子会や子ども会のでき
ていない部落が多いので、
「人の子も、我が子もみん
な部落の子」という考え方
に立って、一日も早く組織
づくりをするよう父兄に呼
びかける。

2、子ども会(親子会など)
の結成や育成については、
部落公民館、PTA、学校
その他、関係機関が連絡協
調して解決する。

3、部落では、補導員まかせ
になっているので、補導組
織を強化し、部落ぐるみの
青少年育成をすすめる。

4、子どもにもっと自主性を
もたせ、会合などには、父
母も積極的に出席する。

5、親子会の開、閉会時刻を
厳守して、「時間尊重」の
精神を養う。

6、青少年の指導者、子ども
会の指導者の研修を強化し
て指導力の向上につとめる

が、魅力ある婦人会の運営を
するには、どうすればよいか
研修は、パネル討論方式で行
なわれましたが、特に、

「消費者学習」の中で、

イ、食品添加物(人工甘味料
人工着色料、人工漂白剤、人
工保存料)により、人体に危
険を及ぼしている事実や
口、農薬の取扱いはよくない
ためのさまざまな危険、
ハ、その他、消費者は、商品
に対する知識がないためにお
こる被害の事実
などが発表され、今後、本
町婦人会では、下から盛りあ

昭和42年度税務課資料

1 個人の町民税関係(県民税を除く)

所得者区分	均等割を納める者		所得割を納める者	
	納税義務者数	均等割額	納税義務者数	所得割額
給与所得者	929人	186千円	612人	3259千円
営業 "	300	60	89	795
農業 "	2045	409	123	157
その他の事業所得	87	17	20	899
その他の所得者	6	2	4	189
計	3367	674	848	5299

2 固定資産税関係

イ 家屋

家屋の免税点50,000円

区分	納税義務者数	所有者	棟数	床面積	価額
免税点以上	1741人	3459人	4484	72657坪	285515.834円
"以下	1059	1290	1326	13684	25866.127
計	2800	4749	5810	86341	311381.961

ロ 土地

土地の免税点80,000円

区分	免税点以上所有者数	地積		筆数		価額	
		免税点以下	免税点以上	免税点以下	免税点以上	免税点以下	免税点以上
田	1135人	392反	2945反	491	6707	16059千	150120千
畑	1464	3572	9346	1044	11152	35731	174658
宅地	1209	241	896	730	1952	51756	212628
山林	1115	2129	20454	719	5893	121516	88823
合計	4923	6334	33641	2984	25714	116239	626729

納税義務者	総数	法免以下	法免以上	大字名	小字数
個人	4228人	2247人	1981人	城元	205
法人	5	2	3	馬場	185
計	4233	2249	1984	神川	306

3 軽自動車税関係

区分	台数	税率	調定額
原付自転車			
50cc以下	460台	500円	230千円
124cc "	108	800	86
150cc "	455	1000	455
小計	1023		771
軽特殊自動車			
二輪車	56	1500	84
三輪車	5	2000	10
四輪乗用	22	4500	99
"貨物	141	2500	353
農耕用	218	1000	218
小計	442		764
合計	1465		1535

4 国民健康保険税関係

イ 所得区分別義務者

ロ 加入者の状況

所得区分	納税義務者数	町の世帯数	3002
給与所得者	281	"人口	12508
営業 "	277	加入者	2294世帯
農業 "	1462	"人口	10013人
その他の事業所得者	239	加入割合世帯	76.4%
その他の所得者	35	人口	80.1%
計	2294	加入一世帯当り被保険者数	4.4人

保険税合計 12222千円
一世帯当保険税 5328円
一人当 " 1221円

ハ 給付の状況

区分	金額等	受診件数 27097件
一部負担金の割合	世帯主 30%	受診率 2.7件
	世帯主 30%	
療諸	本人負担金	16759千円
	保険負担金	39102千円
養費	計	55861千円
その他保険給付費		416千円
合計		56277千円
1人当り療養諸費		5579円

原動機付自転車、軽自動車の標識を、九月中に取り替えることにしています。

今後、保険標章は、標識板にはりつけるようにしてください。標識取り替えの日程は、部落長さんを通してお知らせします。

次の表は、昭和四十二年の町税の賦課の基礎資料を、一覧表にしたものです。この数字だけで所得の状況を云々することは、早計かも知れませんが、一つの参考にはなると考えます。

婦人バレーチーム県体に出場

各種目に善戦

郡民体育大会の成績

去る

八月二

日

また、軟式野球は、八月十

二日大隅ブロックの予選で県

体へ出場権を獲得し婦人バレー

チームと共に、九月二十三

日二十四日に開かれる県民体

育大会に出場することになり

ました。

大会が

高山町

で開か

れました

た。

本町

からは

剣道、

卓球、

婦人バ

レーの

各種目

に出場

し、婦

人バレー

チーム

一、二

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

卓球が

それぞれ三

位、弓道

健全な心身の鍛錬を

防犯三道大会

中

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦

①長谷昭幸(南大隅高校)②

川路幸男(同)③池田孝一

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦

①長谷昭幸(南大隅高校)②

川路幸男(同)③池田孝一

(田代高校)

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦

①長谷昭幸(南大隅高校)②

川路幸男(同)③池田孝一

(田代高校)

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦

①長谷昭幸(南大隅高校)②

川路幸男(同)③池田孝一

(田代高校)

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦

①長谷昭幸(南大隅高校)②

川路幸男(同)③池田孝一

(田代高校)

同 個人戦

①中迫栄(大根占中)②北山

博崇(同)③坂下則夫(神川

中)

同 団体戦

①南大隅高校②田代高校B組

同 個人戦</

県の表彰に輝く

園芸振興会

来年はピーマンの集団栽培も

大根占町園芸振興会（会長、吉山藤巳さん）が、去る八月三十日、県文化センターで開かれた、県園芸振興大会の折から表彰されました。

本町の園芸振興会は、昭和三十八年に結成され、会員は現在三五〇名になっております。

「農業後継者の育成」問題は農業政策をすすめていくうえに非常に大切なことの一つとされています。

資金作りは自分等の手で

農村青年建設班が町道補修

づくりをしながら農業経営の研修にはげんでいます。去る八月二十三日には、班

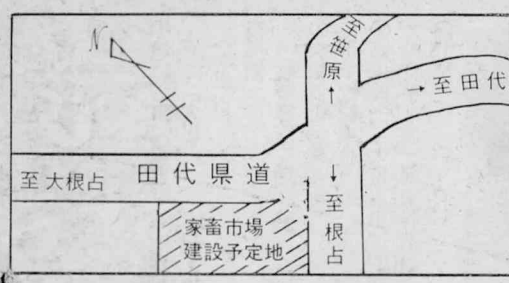
町では、制度金融の導入や農村青年建設班の制度を実施する方法を講じています。年々その成果が現われ、将来の大根占町の農業を背負って立つべき若い人たちが、学問を修め、仲間づくりをしながら農業経営の研修にはげんでいます。



員全員（二十一）人がそろって、町道神川中原線の補修作業を実施しました。これで得た労賃は、今後の班の運営費の一部に充てることにしています。

道路補修に汗を流す建設班員（町道神川中原線）

花ノ木地区に決定三ヶ町の家畜市場
根占、田代の家畜市場の建



販売額は三千三百九十九万円にのぼっています。今年、きぬさやの栽培面積を、二六ヘクタールにする計画です。

このほか、既に新聞等でご承知のように、本町は、施設園芸集団パイロット事業地域の指定を受け、約三千三百平方メートル（約四ヘクタール）にピーマンを栽培、これに必要な育苗施設も設置する計画です。

これに必要な資金は、県や町からの補助金のほか、農業振興資金の融資を受けてこれに充てることになっています。

農政問題に多くの意見 城元農振会で 町政を聴く会

町で、池田校の各部落で町政座談会を開き、住民の意見が、ご要望をお聞きしたことは、本紙別項でお知らせしましたが、城元農振会（会長、福岡国氏）では、八月二十日、同農振会主催で、「町政を聴く会」を開きました。会員約四十人が出席、役場から、町長、助役をはじめ、関係課長が出席しました。

③水稲の耕種改善の問題（特に優良品種の導入）で町で、品種比較展示園なり委託園を設置して、品種の特性を充分農家に知らしめて欲しい。④その他、町道、農道の補修改良等について

大体以上のようなことでしたが、町では、②については県立の試験場の誘致は、現在のところ、望まれないが、近く、「施設園芸集団パイロット事業実施地域」として指定される予定（現在指定済み）なので、これらの施策を通じて、今後、園芸作物の生産に力を注いでいく考えであること。

◎食欲の秋

暑さでいためつけられた胃腸も、涼風とともに回復してきます。これからたくさん出回るくだもの、野菜をたっぷりいただいて、体力を充実させましょう。

青じそはこの種の野菜のうちで、ビタミンAに変わる物質を最高に含んでいるといわれます。めん類の薬味によしつけ物に添えるのもよし、ころもをつけてあげてもたいへんおいしいものです。

「五臓を安じ胃熱を除き、病人を利し、虚を補い、腸を益し、気を下す」とあります。いわゆる万病の良薬ということでしょう。うがそれほどではないとしても、優秀な緑色野菜です。

◎九月の解説

戦前では昭和九年九月二十一日の室戸台風などがあげられます。そのほかキティ台風、アイオン台風、第二室戸台風などいづれも九月中旬にきています。狩野川台風、伊勢湾台風は下旬にやってきました。台風への心構えなどはそのつどテレビ、ラジオ、新聞などで詳しく知らせてくれます。台風はかならずやってくるものと覚悟して十分な対策を考えておきましょう。

九月の和名は「長月」といいます。旧暦の九月は、太陽暦に換算すると十一月に当たります。したがって夜が長くなることから「夜長月」と呼ばれたものが単に「長月」となったといわれています。

さて、いよいよ新涼の秋がやってきましたね。もともとも九月は残暑がまだまだきびしく、台風も油断できず、空模様は複雑です。しかし天地が一日と秋めいてきて、秋分の日を過ぎるころには、日本の四季のうち最良といわれる本格的な季節を迎えることになります。

今後の成果に期待

岩元で林間放牧を実施

牛を林間放牧にして、飼育の手間を少しでも省いていこう。ということから、宿利原校区の大尾、岩元部落内の一部の人たちが話し合っ、名辺迫国有林内、国と町との部分林内に、林間放牧をはじめました。

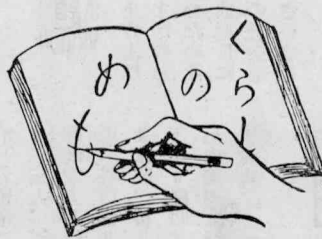
総面積、十一ヘクタールの予定地を、三つの牧区に分け第一牧区に、親牛十四頭、子牛三頭を、去る八月十九日から入牧しました。



（放牧場で思い思いに遊ぶ牛）

町では、この成績や、これまでの他町等の成績から、町有林内にも適当な場所や、希望があれば、どしどし活用していただく考えです。

◎台風は備えましょう
戦後日本を襲った大型台風は、昭和二十二年九月十四日のカスリーン台風、二十九年九月二十六日の台風十五号、



「夜長月」と呼ばれたものが単に「長月」となったといわれています。さて、いよいよ新涼の秋がやってきましたね。もともとも九月は残暑がまだまだきびしく、台風も油断できず、空模様は複雑です。しかし天地が一日と秋めいてきて、秋分の日を過ぎるころには、日本の四季のうち最良といわれる本格的な季節を迎えることになります。

